

Handsome

October 2013 No.299

「人こそ最大の財産」
Positive Forward
自ら進んで一歩を踏み出す
実行力

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 渡辺一徳
◆編集責任者/担当 副会長 福庭貴志 ◆制作・編集 第39期広報委員会/委員長 生田育永

9月例会開催 ~財務諸表の見方~

9月17日、米子全日空ホテルで9月例会が開催されました。



冒頭、渡辺会長より「本日は鳥取県西部青年中央会が発足した記念日。昭和50年の今日、鳥取県内の青年中央会では一番早く、永瀬正治氏が会長となり中小企業の若手育成のための青年経済団体組織としてスタートしています。今日はテーマが『財務諸表の基礎知識』という事で、企業の経営に携わるものとして会計の数値に強くなってほしい。青年中央会発足時から続いている勉強の場として学んでほしい。新発見ができる事を望んでいる。」と述べられました。



また、委員長タイムでは40周年記念事業委員会松田幸紀委員長が仕入れや人件費、家賃、水道光熱費、営業利益割合を地元と東京の店舗を全国平均と比較しながら説明されていました。「地方と違い東京の店舗では家賃等が高く営業利益は少ないが、知名度を上げるためには必要。店舗の規模を大きくするためのきっかけにして

いきたい。更には海外にも出店していきたい。」と今後の自社の展開について思いのこもったスピーチが行われた。

続いて、ビジネス経営委員会秋里委員長より、「今日は青年中央会の原点スタートの日。38年前はどんな事をしていたかわからないが、会員の教育からスタートしていたと思う。私達は会社に重要な財務諸表を把握できていなければいけない。この例会をきっかけに勉強して欲しい。」と本例会の趣旨説明が述べられた。



その後、ビジネス経営委員会の三輪会員から第1部「財務諸表の基礎知識」の講演が行なわれました。財務諸表とは何か。内容の見方、数字から見る経営状態の目安等の説明が行なわれ、企業経営におけるポイントとして大変勉強になる内容でした。



第2部は、テーマを「財務諸表から見る企業の姿～銀行編～」として、ビジネス経営委員会のメンバーが会社経営者、銀行の融資担当者、支店長に成りきった寸劇が行

われました。会社経営者が融資を受ける際に、金融機関は財務諸表の内容をどのように見ているのかという点に着目した楽しく愉快的なドラマ仕立ての内容でした。



企業は財務諸表の数字の根拠や、将来のビジョン、他者との優位性等を具体的に説明できるかどうか重要という事がよくわかりました。

今回の例会は、時間的な制限がある中で財務諸表という難しいテーマだったにも関わらず、会員が持つ専門知識を生かし、自らが講師となり、誰にでもわかりやすく伝えるために努力・工夫した貴重な講演内容だったと思います。

会員一人一人が会の宝であり企業の宝、さらに地域の宝である事を改めて感じた例会でした。(足立 匡)

例会を終えて… ビジネス経営委員会 委員長 秋里武信



ビジネス経営委員会では、7月より「現役会員が講師の手作り例会にしたい」という思いで企画をはじめ、経営の基礎となる財務諸表をテーマとし、三輪会員・下村会員・横山会員の持つ専門知識を基に委員会メンバーで内容を詰めてまいりました。

1部の講演内容は、元々しっかりした内容のものでしたので時間調整だけでよかったのですが、2部の演劇はゼロからのスタートでした。その為、奥森副委員長をはじめ出演者の方々には何回も集まっていたご苦勞をおかけしました。しかし、迎えた本番当日、例会中は退出される方もなく、また例会後には「良かった」「面白かった」「もっと見たかった」とのお言葉も数多くいただきましたので、メンバーの苦勞にも報いることができたのかな？と感じております。

「9月17日、西部青年中央会設立記念日の開催」「一般委員会が担当する最初の例会」と様々なプレッシャーが重く押し掛かる9月例会でしたが、無事に終えることができました。また、7、8月に引き続き80%を超える会員の皆様にご出席いただくことができました。本当にありがとうございました。

イベント突撃
レポート!
No.1

OUTDOOR SPORTS FESTA2013



平成25年9月15日(日)に鳥取県アウトドアスポーツ協議会が主催の「アウトドアスポーツフェスタ2013」が開催された。同イベントは、小学生から大人まで幅広い世代に対し自然に恵まれた環境の中でスポーツに親しんでもらうことを目的として行われた。

アウトドアスポーツ協議会とは主に鳥取県西部地区を中心にアウトドアスポーツ活動を行っている競技団体・各種関係団体(24団体)が連携し、情報を共有することにより域内のアウトドアスポーツのより一層の発展と普及を図るために2013年7月発足された協議会である。

イベント当日は、あいにくの雨模様ではあったが、同協議会から5団体が参加されボート、カヤック、ヨット、カヌーが無料の試乗体験、各競技を知っていただけるように映像やトレーニングマシンの展示などいろいろな体験ができるイベントであった。

普段体験することができない競技ということもあり、いろいろな競技に次々と挑戦する子供たちの、楽しんでいる姿がうかがえた。また、スポーツを通じて親子で楽しみながらコミュニケーションを図る姿を見ることもでき内容深いものであった。

これをきっかけに、いろいろな体験をし、スポーツの楽しさを知る事で未来のアスリートが誕生するのもしや遠くない話ではないのかも知れない。

また、私たちが住む地域は海・山・川などの自然環境に恵まれ、コンパクトな地勢の中に、数多くのアウトドアスポーツを楽しむことができる素材が凝縮された自然環境を有する地域でもあると思う。スポーツを通し、この恵まれた環境を活かした地域活性に繋がる事をもっと多くの人に伝えていきたい。
(長谷川 洋)



イベント突撃
レポート!
No.2

Candle Night



米子 ケヤキ通り祭り



平成25年9月16日(月)に第6回米子ケヤキ通り祭りが開催された。このお祭りは、清掃や花壇の手入れなどに取り組んでいる「米子ケヤキ通り振興会」(重田紀生会長、51社)が企画。

会場では地元食材を使った屋台があり、西部青年中央会からは、桶村OBが”チュー”(ベトナム風スイーツ)を、長田会員が”大山ホルモン焼きそば”を出店されており、大変忙しそうにしておられました。総勢100名のボランティアが絶え間なく活動され、中でも政治行政委員会や権田会員(他にも多数参加)らは早朝から夜にかけて大変頑張っておられました。

そこで政治行政委員会の千石委員長の思いを聞いてみました。千石委員長は「身近な商店との繋がりを感じて、より一層地元企業が発展してほしい事やボランティア活動を通じて色々な人とつながりを持って、尚且つできる事は自らが進んですること・それが大きな力になる!」とおっしゃっておられました。

実行委員長の永東大介氏は「回を重ねるごとに来場者の方も増え、それに共なってスタッフやボランティアの方々のボルテージも上がりとても良い相乗効果になります」と述べられた。



イベントは午前11時のちょうちん作り体験を皮切りに、消防車や自衛隊車両の展示、ダンスとゴスペルのライブ、マジックショー、境港大漁太鼓の演奏など終日繰り広げられる。



17時30分頃からはキャンドルナイトの点灯式が執り行われ、幻想的な空気に会場はつまれた。何よりも、前日の台風の影響も少なくお祭りが滞りなく終えることができたのは参加者一同の思いが繋がったからではなかろうか…。
(村田)

趣味



「言う」言う



国土地理院 地図閲覧サービスより

荒川の「加茂川の源流を訪ねる!!」

加茂川は、かつて米子城の外堀を形成し、税金を取る側(武家屋敷)と取られる側(町民)の境界線ともなり、古き時代から米子町民の生き様をその川面に映してきた。

さて、この加茂川であるが、一体、どこから来るのか。意を決して、その源流を探ることにした。まず、国土地理院の公開地図で、最も奥深い源流に目をつけた。県境を越えて、島根県安来市伯太町の粕原地区の鷲頭山(標高258.0m)の中(溜池)にあるようだ。

秋晴れの早朝、現場に急行すると、県道を横切る小川を発見した。鷲頭山の山谷から流れるこの川が、どうやら加茂川の本流だと思われる。

加茂川の小さい流れを確認しながら、汗だくになって雑木をかけ分け、約20分間、山谷を登ってゆくと、ついに、加茂川の源流を見つけた。かつて存在した溜め池は土砂が埋まって涸れており、その直下で、増水時に滝つぼとなっているところに、水源があった。

山から下ってくる途中、住民の方が話しかけてきて、「ため池はどうなっとった? わしらは草を刈って行こうと思うけど、なかなか行けない。だけど、この川は、センチ川と言っている。加茂川の源流はあっちの谷ではないのか」と衝撃的な証言を聞いた。

しかし、国土地理院の地図で確認すれば、今回の水源は紛れもなく加茂川最遠の水源である。まさに、滅多に來ない秘境であった。



加茂川源流

我が社の看板娘



ペットショップ バウ

〒689-3553 鳥取県米子市皆生新田1丁目1-1

TEL0859-23-2288

■営業時間 10:00~19:00 (年中無休) <http://www.bow.co.jp/>

※尚ペットショップバウは、株エコプレゼンスの兄弟会社です

〈写真後ろ〉

①大谷彩華 20歳/②2年目/③進撃の巨人

抱えている猫:ノルウェージャンフォレストキャット(4ヶ月・おっとり脱力系の女の子)

〈写真前〉

①植田(わきた) 佳奈子 22歳/②2年/③掛け算九九(笑)

抱えている犬:シーズー(8ヶ月・人懐っこい女の子)

※①名前 ②年齢/③勤続年数/④今、ハマっていること。

~総務委員会 石田倫章会長より~

ペットショップバウは、今年で創業27年目。人とペットの幸せな暮らしをサポートする犬猫専門店です。

徹底した健康管理と愛情飼育。今日も元気なバウっ子達が、皆様をお出迎え。

トリミングは、スタッフ全員がプロトリマー。確かな技術と丁寧な仕上げが光ります。猫もOKのペットホテルも完備。

『グッドサービス・グッドプライス』を合言葉に、お客様のひ来店をお待ちしております。

卒会者から君たちへ

横山友樹 会員



平成20年11月に入会して、あっという間に卒会年度となりました。新入会員の自己紹介で、「卒会までの5年間、全力で駆け抜けたと思います。」と挨拶したのが、つい昨日のこのようです。そして今日まで、自分なりに全力で駆け抜け、充実した時間を過ごすことが出来たと感じています。

中央会に入って、同じような志しや悩みを持った同世代の会社経営者や経営幹部といった仲間と出会い、互いに切磋琢磨し合い、成長する機会を得ました。縁あって、中央会に入った以上、この機会を活かさない手はありません。

私は、入会以来、会の事業には極力参加してきました。そして、ただ参加するだけではなく、積極的に輪の中に入り、事業に取り組んできたつもりです。その結果が、今こうして卒会を前にして、これまでを振り返ったときの達成感や充実感に繋がっているのではないかと思います。

中央会活動は様々です。委員会や例会だけではありません。時には傍から見れば馬鹿ばかしく思われるような事もあるでしょう。しかし、それら全て含めて中央会活動なのです。どんなシーンでも自分が真剣に一生懸命取り組んだことに対して、それ以上に応えてくれるのが、この会の仲間であり、この会であると思います。

OB訪問 探偵! TSCスクープ 「NISAってなにーサ!?!」

佐々木雅彦OB(第37期卒)を訪ねて



ある会員から「最近テレビや新聞や雑誌等でNISA(ニーサ)という言葉をよく聞くが、果たしてどんな制度か調べて欲しい」との依頼が。

調べによるとすでに2014年1月の制度スタートに向けて証券会社、銀行など多くの金融機関で専用口座開設の募集が開始していると判明。早速探偵は佐々木OBを頼り大山田ノ丸証券(株)米子支店へ調査に。

NISAとは「少額投資非課税制度」の愛称。イギリスにはISA(Individual Savings Account)と呼ばれる同じような制度がすでにあり、これの日本版ということでNipponのNが頭についた。年間100万円まで専用口座で5年間投資できるの最大500万円まで非課税投資が可能に。ちなみに現在の上場株式や株式投資信託等の配当金及び売買益等に係る現在10%の軽減税率が2013年末で廃止、20%に変更予定。(復興特別所得税は考慮せず)

日銀や政府の経済政策もあり、通常の生活でも物の値段の上昇を感じることも多く(燃料や食料品も高いですね)、お金を貯めるから増やすことを目指す投資経験者や投資初心者にも非課税枠が使えるととても有利な制度。1人1口座など制度上の留意点が他にもいくつかあるが、詳しくはNISA口座取扱いの各金融機関にお問い合わせを。

投資や税金の話は難しいイメージがありますが、投資経験のほとんどない探偵にも佐々木OBは大変分りやすく説明していただきました。ちなみに大山田の丸証券(株)では、投資初心者にも分りやすいセミナー等も定期的に開催しているので、気軽に参加してみて投資の知識を深めるのもお奨めです。(宮田)

団体中央会 組合次世代リーダー育成塾に参加して

先日9月17日(火) 13:30より、倉吉駅構内の駅パル倉吉にて、第3回組合次世代リーダー育成塾が行われ、渡辺一徳会長と共に参加してきました。

この塾は、団体中央会の主催で、県内に存在する様々な組合より組合の次世代を担うリーダーが参加するものです。将来の環境変化に対応し、事業活動を活性化させる人材となるよう、組織として持続可能な考え方や発想を習得し、且つ実践・実行力を養うことを目的としています。今回はチームのプロセスを管理してチームワークを引き出し、そのチームの成果が最大となるよう支援する力、「ファシリテーションスキル」を学びました。簡単に言いますと、会議の目的(狙い)・目標(ゴール)・手順(プロセス)を明確にし、いかに

様々な意見を参加者から聞き出すか? 会議を効果的な場に導くか? という、いわば会議のコーディネーターに求められるスキルです。ここでは、より良い会議(意見の出やすい会議)を行うには、普段のコミュニケーションが必要となることを改めて感じました。今回の研修を受け、会社や中央会・他の会での会議を含め、会議の進め方という点で非常に参考になりました。(山崎慎也)

委員長交流会に参加して

9月21日(土)米子コンベンションセンターの会議室にて青年中央会の東部・中部・西部の委員長交流会が開催された。冒頭、水野県会長より「委員長の皆さんは、各地区の期待を背負って出席されていることを自覚して本日は学んで欲しい。」とお言葉をいただいた。

第1部では企業交流として、各委員長より熱意あふれる自社の企業アピールが行われた。

続く第2部では、3つのグループに分かれてのディスカッション形式で進められた。

東部・中部・西部混在の各グループでは、活発な意見が上がり、ディスカッション後の各グループの発表は、今後の委員会活動に使えると感じるものばかりであった。

今回はじめて委員長交流会に参加させていただき親睦を深めることで、委員長に与えられたテーマは各委員会と違っていても自分たちが感じている課題や責任感・達成感共通のものであると感じた。参加した他の委員長同様、この経験を今後の委員会活動に有意義に活かしていきたい。(広報委員会 生田)

9月度委員会報告

絆委員会

平成25年9月6日(金) 19:00~ 場所:海王
議題/・役員会報告 ・10月担当例会について
・OBを招聘しての講演及び打ち合わせ ・その他

ビジネス経営委員会

平成25年9月6日(金) 19:00~ 場所:東光園
議題/・役員会報告 ・9月例会について
・松江・安来Y E G交流事業 ・その他

政治行政委員会

平成25年9月6日(金) 19:00~ 場所:米子ニューアーバンホテル
議題/・役員会報告 ・自助・共助に関する事例研究
・11月例会について ・その他

広報委員会

平成25年9月5日(木) 19:00~ 場所:米子ニューアーバンホテル
議題/・役員会報告 ・ハンサム299号について
・ハンサム300号記念打ち合わせ ・その他

総務委員会

平成25年9月6日(金) 19:00~ 場所:ホテルアクシス
議題/・役員会報告 ・委員会テーマ「魅力」について
・新年例会企画策定について ・その他

40周年記念事業委員会

平成25年9月5日(金) 19:00~ 場所:こうりん坊(朝日町店)
議題/・役員会報告 ・8月担当例会の反省
・10月チャリティーG Cについて
・40周年記念事業について ・会員拡大について
・その他

10月役員会報告

10月役員会が平成25年10月1日米子コンベンションセンターにて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
・9月例会開催報告 ・10月例会について
・その他
*なお、詳細につきましては、各委員長までご確認下さい。

10月例会のご案内

と き:平成25年10月15日(火) 19:00~20:50
と ころ:鳥取県立夢みなとタワー 3階夢みなとシアター
内 容:講演 テーマ:『伝心伝承』のころを今につなぐ~中央会魂と絆~
講師:有限会社 浜光建築 代表取締役 浜田一哉氏
(鳥取県西部中小企業青年中央会 第29期会長)
担 当:第39期絆委員会

お誕生おめでとう



村田恒悦くん(2013.8.25生まれ)
村田博会員の第2子

8月25日生まれ。3,590グラムの男子です。名前には恒に喜びを感じて成長して下さいと願い、恒悦(こうえつ)と名付けました。健やかに育つ事を願っています。

編集後記

2020年 東京オリンピック開催決定!
開催までの7年間、どう日本が進捗するのか。
当会はどう全進しているのか。
まずは40周年をピシッと決めたいですね!

(吉田)